

2010 年度上期「理事・監事・評議員会」 議事録

日 時:平成 22 年 11 月 27 日(土) 午後 2 時より懇談、2 時 30 分開会、4 時 30 分閉会
会場:八雲往区センター第 2 会議室

出欠:理事・監事・評論員 107 名中、出席 27 名、欠席 39 名、返信合計 66 名 (61,68%)

ご臨席:須藤 勝校長、笹のぶえ副校長

次第:

理事長挨拶:内野滋雄理事長

学校長挨拶:須藤 勝校長

副校長挨拶:笹のぶえ副校長

3 氏より会報 1～3 ページに掲載の主旨に沿った挨拶があり、その後会則に従い、内野滋雄理事長を議長に議事に入る。

議事

議題 1:平成 21 年度事業報告(平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

- ① 会報の発行：平成 21 年 12 月 1 日発行 発送部数:9,201 部 返送数:272 部
- ② 第 60 期入会手続き：入会同意書配布・回収、調査票配布・回収
- ③ 第 56 期～第 60 期生補遺の発行：B 5 判 20 ページ、200 部、印刷、製本
- ④ 第 60 期生へ名簿、補遺の贈呈：卒業式当日
- ⑤ 新入会：第 60 期生 162 名
- ⑥ 第 60 期新任理事・評議員就任
理 事：B 組斎藤春香
評議員：A 組加藤恒子、B 組斎藤春香、C 組中村舞弓、D 組伊久見栄優
- ⑦ 卒業式、入学式への列席、挨拶
- ⑧ 会議：「平成 21 年度上期理事・監事・評議員会議」平成 21 年 11 月 28 日
「平成 21 年度下期理事・監事・評議員会議」平成 22 年 4 月 24 日
「同窓会ホームページ新企画委員会」平成 22 年 6 月 13 日
「平成 21 年度版同窓会報編集会議」平成 22 年 6 月 20 日
- ⑨ 第 62 回記念祭に同窓会「くつろぎルーム」を出展：於：L L 教室
共催：府立高等学校同窓会 *会報 13 ページ参照

⑩ 第2次募金 *募金実績と使途は4ページ参照

議題 2:平成 21 年度決算報告、並びに決算承認の件 * 会報 14 ページ参照

議題 3:平成 22 年度事業計画案、並びに予算案承認の件 * 5 ページ参照

議題 4:閉校に関する行事について

- ① 閉校記念式典:平成 23 年 3 月 5 日 (上) 午前 11 時 45 分～午後 1 時パーシモンホール犬ホール
- ② 記念碑贈呈式:同日午後 1 時 15 分より 母校中庭
- ③ 閉校記念パーティー:同日午後 1 時 45 分より パーシモンホール小ホール
*①～③は会報 1 ページ参照
- ④ 閉校記念誌「自由と自治」の発行:平成 23 年 3 月 5 日 頒布価格 1,500 円
*詳しくは会報 2 ページ参照
- ⑤ 「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌集」DVDの発行:平成 22 年 12 月 1 日
頒布価格 1,500 円 *詳しくは会報 16 ページ参照

議題 5:総会の開催:平成 23 年 4 月 23 日 (土) 午後 1 時受付開始、午後 2 時開会
会場:母校多目的ホール *申込者に議案書を送付

- *午前 11 時より「平成 22 年度下期理事・監事・評議員会議」を開催する。
- *主たる議題:「当会の存続と運営について」(下の議題 7、その他の項参照)
- *出席者には昼食を用意する。

議題 6、同窓会ホームページ開設と運営

*北原委員より説明があり、今後の進行はホームページ企画数委員会に一任する。

議題 7、その他

同窓会の存続について

当会の存続については様々な議論があったが、存続することを議決した。しかし、5ページの「平成 22 年度収支予算書」にあるとおり、平成 22 年度末の次期繰越金は 6,7H,288 円となり、平成 23 年度からは、わずかな利息以外は収入がないため、平年時の支出を約 1,800,000 円と仮定すると 3 年で財政が破綻する。従って存続するためには、財政、人事、事務所が必要で、以下のような議論が行われた。

1、財政について

平成 23 年度より、なんらかの方法で収入を得る必要があり、その方法として、

- ・ 会費の徴収（案）
 - ・ 同窓会費を年額 1,000 円とし、3 年分（3,000 円）、または 5 年分（5,000 円）をまとめて徴収する。
 - ・ 但し卒業後 5 年間は据置くこととし、平成 23 年 12 月発行の会報（発送予定部数 9,500 部）に、平成 18 年卒業以前の会員（約 8,700 名）に、郵便振替用紙（赤刷り）を同封し振込を依頼する。（はたして何人が振り込んでくれるか？）
 - ・ 翌年（平成 24 年）発行の会報からは、未納入者だけに振替用紙を同封する。
 - ・ 原会員管理データベースに会費納入者の記録を追加して管理する。
 - ・ 納入された会費は預かり金勘定とし、1 年毎に引き落とし収入とする。
 - ・ 本来”会費”は、会員全員が納入すべきもので、納入者と未納者に対するサービスに差をつけるか？どのように差をつけるか？それとも差をつけないか？
 - ・ 終身会費制度（30,000 円、又は 50,000 円）の導入は？

②維持費の募金（案）

- ・ 会費としてではなく、同窓会の存続を積極的に支援してくれる篤志家から”維持費”として、1 口 1,000 円（2,000 円、3,000 円、5,000 円）で募金を募る。
- ・ 毎号の会報で募金を呼びかけ、振替用紙を同封する。
- ・ 納入された募金は収入として扱う。

2、人事について

- ・ 現在当会は、理事・常任理事・監事・評議員と、内野滋雄理事長(1 期)、新井正己監事(3 期)、鯉目信三監事(7 期)、野口貞義事務・会計担当(4 期)、薄井房子学校連絡協議会委員(16 期)、会報編集委員会、HP 企画委員会により運営されているが、会を存続運営するためには人事の若返りが必要。
- ・ 事務担当者を有料で雇用してはどうか。

*参考:旧制府立高等学校同窓会は、事務担当者 1 名を、週 3 日勤務で雇用している。

3、事務所について

- ・ 当会の事務所は、会則に「東京都立大学附属高等学校内におく」とあるが、実務は事務・会計担当の野口貞義宅で行っている。
- ・ 平成 23 年 3 月で開校が閉校になると、会則を「都立桜修館中等教育学校内におく」

と改定する必要がある。

- ・ 旧制府立高等学校同窓会と合同で、都立桜旅館中等教育学校内に事務室を設けることが出来ないか学校と交渉してはどうか。当会と、府立高等学校同窓会、都立桜修館同窓会の、緩やかな連合体、「ハ雲が丘学友会」の創立について会報1ページに掲載の巻頭言で、内野理事長が詳しく述べられているとおり、平成24年3月、都立桜修館中等教育学校の初めての卒業生が誕生し同窓会が創立した際、3同窓会の緩やか連合体、「ハ雲が丘学友会」創設の構想については、当会の存続を前提に参加することを承認した

以上、当会の存続に関する問題点を、理事・監事・評議員から”具体的な提案”を募り、次回の会議に諮り、総会に提案することになった。

●同封の提案用紙に記入し、FAX（03-3720-6007）または郵送にて、平成23年3月31日までに、事務局までお送りください。

皆様の提案を取りまとめ、4月23日（土）午前11時開催の「平成22年度下期理事・監事・評議員会議」の主たる議題とします。

提案書の送付先:同窓会事務局 〒158-0084 東京都世田谷区東玉川2・3・15 野口貞義方

F a x . 0 3 - 3 7 2 0 - 6 0 0 7

以上